

碩 心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
 神奈川 碩 心 会 発 行

12年9月現在 逗子地区 葉山地区 大船地区 (合計)	会員数 132名 186名 29名 347名	12年9月 (338号) 発行者 千葉 岳 関 編集者 白 井 岳 麗
---	------------------------------------	---

行事予定

○第111回全国吟道大会 期間10・14～10・17
 会場・福岡サンパレス 碩心会より7名
 矢嶋岳悦と高橋恍岳が交替

○第24回横須賀第二地区吟道大会

会場・横須賀市はまゆう会館

日時・12年10月22日(日) 午前9時30分

当日碩心会より左記の方が役員としてお手伝いします。

実行副委員長 松井正岳

総務 加藤岳相、千葉岳関、中村岳愛

加藤岳洵、中村岳郵

受付◎矢嶋岳悦、杉山岳雪、嶋津幸岳

進行◎上村岳章、立澤御岳、大屋正岳

森 晴岳、一柳晴岳 大塚寛風

贈 沼田岳義、大山政岳、植村成風

連絡 横山清風

会旗 綱川岳邦

接待◎白井岳麗、中村豊風、金子憲風

弁当 星野輝岳

加印 中村岳郵

記録 佐久間岳爽

碩心会 各副部長、常任理事との懇談会概要

去る9月3日(日)18時30分より、逗子市体育館に於て標記役員その他、相談役を交え懇談会が開催された。

冒頭会長より「総本部、県本部は現在、総力を挙げて会員の増強に取り組んでいる。当会にあつても特に青少年会員の勧誘に知恵をしばっているところであり、その対象を幼稚園にも向けているので、皆様のご協力を切にお願いする」との挨拶があつた。

・続いて各部長より次の通り現況について報告がされた。

松井正岳 総務部長

一、会員の新名簿発行について現在作業中であり、9月末日に配布の予定。
 (12年8月1日現在で作成)

内山岳青 企画部長

二、平成13年の初吟会は、1月14日(日)逗子会館で開催する。
 (当番は大船、松和、戸塚、栄支部)

上村岳章 許証部長

三、秋季審査会は9月24日(日)に開催する。

尚、当日欠席の場合の追審査は四段まで。

杉山岳雪教務部長

四、毎月一回行なっている指導者講習会は、9月26日の会場を図書館ホールに変更する。当日は吟詠講習は行なわず、指講会の今後の在り方について協議するので、準師範以上の有資格者は全員出席され、活発な発言を願いたい。

白井岳麗広報部長

五、「傾心」の広報へ投稿していただき感謝している。毎月指導者講習会当日に、各支部へ配布するが、原稿は月の15日を目途に提出をお願いしたい。

矢嶋岳悦会計部長

六、総本部費の徴収について、来年度から3月中に納入していただくよう（従前は4月に徴収していた）常任理事会で決定した。また各会費（総本部費、県本部費、傾心会費）の納入については郵便振替により、納入していただくことになり、追って詳細を発表する。

立澤御岳青少年部長

七、諏訪市文化センターに於て、8月6日(日)に全国少年少女大会が開かれた。

傾心会の出吟資格者は1名であったが欠席であった。

沼田岳義葉山地区長

八、傾心会葉山地区温習会について
本年は葉山地区が当番で11月19日(日)葉山町福祉文化会館にて開催。ご協力を願いたい。

・次に会長、副会長より次の報告があった。

一、各教場の案内告知について、広報宣伝並びに会員の勧誘を目的として、今後傾心会の行事に係るプログラム作成のときは各教場の案内を掲載することとなった。

二、傾心会65周年大会の準備について

来る平成14年に傾心会は設立65周年を迎えるので、13年早々に準備にとりかかる。県本部作成の会員募集のポスターについて次のような意見があった。

一、メインタイトルが「吟詠」への誘いとなつていますが、一般の人には吟詠より詩吟という言葉の方が理解され易いと思う。
二、「ポスターの色が淡い」のでインパクトが弱い。

三、ポスター掲出の効果が、各教場より発表された。

高段者審査課題講座を受講して

堀内E 西岡清岳

平成13年に受審する高段者の講座が、9月9日(土)に、横浜市栄公会堂で開かれた。残暑きびしい中、9時15分から受付。9時30分に開講式が行われ、立平岳昇県本部長の挨拶、続いて各担当の講師の紹介があり、一時限は10時から始まり、5分間の休憩、最後の七時限は4時25分に終了。

講義は作者の紹介、時代背景、内容の説明アクセント等大切なことばかり。

すべての講義は素読に始まり、一行づつの先生の指導、合吟。熱心に講義して下さいました講師の先生に受講する側も一つも聞き洩らさないように努めました。

長時間、広い範囲にわたりご熱心に指導をされた講師の先生方に頭が下がりました。

前回の九段の査定の際は、不覚にも風邪をひいてしまい声を出すのに苦労しました。十段は悔いのない練習と体調を整え、ベストコンディションで望みたいと思います。

岳風流朗詠による

森山神社・和歌献詠の儀

滝の坂支部 佐久間 岳 爽

相模風土記その他に記載の葉山森山神社の歴史は古く、良弁僧正の創建になり、約一千二百年余の社歴を伝えていきます。

平成8年の三十三年毎の大祭を迎えた折、神社の由緒略記の中に「昔は和歌を清らけく声高らかに、心より詠詞奉納する」とあったのでお聞きしたところ、現在は行なわれていないとのこと。「それでは美しい神輿も完成した大祭を機に、和歌献詠を復活されては如何でしょうか」と提案しご返事を待ちました。宮総代の方々が協議の上、鈴木喜岳氏子会総代会長より祭事として行なわれる旨のご快諾を頂くことが叶いました。

一色支部師範の守谷岳琅先生は婦人会の名譽会長であり、森山神社には殊に崇敬の念深く、常々ひとかたならぬご尽力をなされているので、ご連絡を重ねつつ実現の運びとなりました。

早速、知人の創作葉山歌会の方へお願いして詠進歌を上げていただき、岳風流の朗詠で

頌心会がさせていたゞくことになりました。

以来、神社の恒例行事として認められ、本年第五回目を迎えました。その8月27日(日)神社本殿に、今年のと歌を奉納された方8名と頌心会の有志が昇殿しました。

守屋宮司(町長)他、総代の方が着席。石川響風先生の尺八が流れ「和歌献詠の儀」が始まります。

「お水取りの儀式から始まる、森山神社のご神徳を讃え、大前に謹しみて和歌献詠の儀を相奉ります」とナレーターをつとめます。

平成12年例大祭献詠歌

森山の宮居に成りし幼稚園に友と遊びし

杳き日もゆめ 池田 桂穂 奉る

下山橋にちらと見えしは翡翠か鮮やかな

瑠璃一瞬に消ゆ 和田 俊子 奉る

出征の夫の御加護をみ社にひたすら祈りし

日もはるかなり 岸本 満理子 奉る

来む年の穩しき天候占ひて森山の宮

夏祭り迎ふ 坂 理風 朗詠

夏祭り迎ふ 坂 ひで子 奉る

西山 隆岳 朗詠

夏空に子供神輿の声ひびき軒ごと祭りの

活気もたらす 谷藤 敏子 奉る

八雲立つ媛がロマンを森山の朱のみ柱に

寄りて偲ばな 佐久間岳爽 朗詠

夜の更けを祭りの杜の音絶えて青銅の屋根

月光に浮く 秋吉 茂 朗詠

倉根 幸子 奉る

人けなき宮居の庭に砂浴びの雀らいとしく

しばし歩めず 上村 岳章 朗詠

守谷 岳琅 奉る

鈴木 清山 朗詠

(詠進歌は森山神社境内に一年間掲示)

藝……この夏

東伏見支部 森合 敬山

庭に出てきた藝を飼っている。飼うというのは適切ではないかも知れない。何しろ相手は神出鬼没の野性の君である。朝まだき運よく現れているガマ君にミミズを二、三匹与えるだけである。ガマは動く生ま餌しか食べないと知っていたので、畑から掘り出したミミズを、ガマの目の前にほうり投げてやる。ガマは餌の方を出目でにらんだまま、瞬時ジツ

としているが、餌にピクついた動きがあるや否や、バクツと一口で呑み込んで了う。みことな速業。あとはへの字に閉じた口を動かす悠然とした構えのみ。唯々啞然とする。

動作が鈍重で姿や腹の編目がグロテスクなので、ともすれば人に嫌われ、昔から日本でも中国でも怪奇小説の題材にされるガマだが、その前足の所作はとても愛嬌があり、又緩急静動には仙人めいた威厳があつて、昔居合ひ抜き武芸者がガマの一瞬の舌見せず併呑の術に、大いに得るところがあつて悟達した、という講談のハナシも成程と納得する。

庭の涼しい物かげを好み、小さな虫などを捕食して生きるガマは、小動物の世界では日かげの隠者よろしく、もう稀少動物の類に入る存在で、私の住む地区にも姿を見せることは殆どない様だ。まして猫や犬と共存できる筋合もない。私の出遇いの最初の疑問は、第一池泉のない山際の宅地でどう卵を生み子孫を繁殖させるのかということであつた。不思議と言えば不思議。七月二十六日大方マ棲息発見、ミミズ餌でグルメ生活満足そう、ガマ失踪、暑さと運動不足か、ひき君又朝帰りなど今夏のが家の話題のメモ日記がつづく。

よりによつてわが家を棲み家とするガマ君はわが庭の一遇を照らす靈妙な一君子かも知れない。

手許の歳時記を取り出してみたら夏の季語にも載っている。次の佳句が目にと留まつた。

小林 一茶

まかりいでたるはこの藪のひきにて候

加藤 楸邨

藝 誰かものいへ声かぎり

入会

入会者の会員番号は新しい名簿の番号です。

345 佐久本利子 横浜市戸塚区川上町

(幸和) 三一八一三五―二〇六

☎〇四五―八二五―五五九七

紹介者 林田静子

346 及川 幸男 横須賀市公郷町四一五一四

(幸和) ☎〇四六八―五三―三三九七

紹介者 西川幸岳

347 行谷 隆 葉山町一色一二四三

(滝の坂) ☎〇四六八―七五―五八〇七

紹介者 斉藤誠風

348 山口 茂 逗子市桜山二一―一七

(堀内E) ☎〇四六八―七二―〇四〇四

紹介者 白井岳麗

349 井上 清 逗子市池子三一五―一七

(堀内E) ☎〇四六八―七一―一九八五

紹介者 白井岳麗

350 柳川 フミ 逗子市逗子一―〇―一七

(逗子A) ☎〇四六八―七一―九〇九七

紹介者 安田聡岳

351 田沢 潤子 逗子市逗子七―九―九

(逗子B) ☎〇四六八―七一―三一五四

紹介者 河原キヌ子

支部変更届 (平成12年9月1日)

17 (新名簿) 若葉支部担当師範 立澤 御岳

大船支部より若葉支部へ移籍

退会

144 木村紀岳 (逗子A) 255 岸田浩風 (逗子A)

(岩手に転動のため)

編集後記

県本部から会員増強協力の呼びかけと会員個々に、そのポスターを渡され責任をもたされました。その成果と皆様の熱意により9月号は入会者の記事が一層増加し、嬉しい紙面となりました。

熱さ寒さも彼岸まで。盛り沢山の行事を元気で乗り切りましょう。